

いずみぎ

議会だより

第98号
2018 平成30年1月25日



12月定例会

もくじ

議長インタビュー	2	一般質問一覧	9
12月定例会	4	一般質問(4人が町政をたず)	10
補正予算質疑	6	行政視察報告	14
10月臨時会・議会のうそぎ	7	委員会視察	15
全員協議会	8	町民の声	16

新春インタビュー

～新議会で新年を迎え～



議長 仙海直樹

×

議会報特別委員長 高桑佳子

今年の抱負をお聞かせください

議長に就任して一年目の年です。皆さんに支えていただきながら職務を行っています。

感謝の気持ちを忘れず、謙虚に、そして素直に町民の声に耳を傾け、町民目線で皆さんと身近な距離で活動していきたいです。

全国的な議員のなり手不足についてどう考えますか

議員のなり手不足は地方自治の根幹を揺るがす大きな問題と考えています。全国議長会でも国に対し、その解消に努めるように要望を行いました。

議員定数や議員報酬の問題もあると思いますが、例えば、会社などに勤めながらでも議会に出席できる制度の構築なども必要ではないかと思っています。

町議選2期連続無投票に対していかがい思われますか

選挙が無いということは決して良いとは言えません。色々な要因が考えられますが、議会の立場として何が出来るか、何をやらなければならぬかを検討し、魅力ある議会にしたいか、ないかといけなかと考えます。

今問題の政務活動費についてどう思われますか

領収証の偽装などで不正受給することが報道されていますが、政務活動費は税金であり、そのようなことをする人の気持ちが全く理解できません。

本町では月額5000円の政務活動費が支給され、それぞれの議員が規定に基づき使用をしています。また、年に一回、議会だよりで用途を報告しています。

これからどのような議会運営を目指しますか

車の両輪のごとく執行部と一歩離れて二歩離れずという意識で議会運営にありたいです。とは言え議会では最年少議員です。議員各位のお力添えなくしては運営していくことはできませんのでよろしくお願いたします。



～新議会で 更なる飛躍を遂げるよう

まちづくりに努めます～

出雲崎町議会議員一同



給に向けて

262万円 補正

定例会は、12月7日から12日まで6日間の会期で開かれました。議会報告2件、平成29年度一般会計補正予算、特別会計補正予算、条例改正など議案12件が提出され、慎重審査の結果、原案のとおり可決・承認しました。

可決した条例改正など

■町職員の育児休業等に関する条例の一部改正

・地方公務員の育児休業等に関する法律及び児童福祉法の改正に伴うもの

■町職員の給与に関する条例の一部改正

・人事院勧告により民間給与との格差是正のため

■町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正

・法律の一部改正によるもの

■町子育て支援に関する条例の一部改正

・小中学校入学祝金支給事業において、支給対象者の拡大と支給時期を変更するもの

■柏崎地域土地開発公社定款の変更

・刈羽村・出雲崎町が脱退し、柏崎市単独になるもの

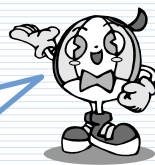
定例会

教えて



町長専決処分とは？

議会の議決を要する事項について、町長が代わって意思決定を行うことだよ。会議の成立を待てない緊急の場合や、事前に議会からの指定事項の場合に行われるが、いずれもその後に議会への報告・承認が必要なんだ。



閉会中の継続調査とは？
※15ページ

議会の議決によって、会期が終了した閉会後も引き続いて委員会が審査や調査を行うことができるんだ。



小中学校入学祝金

平成30年3月支

12月定例会で決まった補正予算

(△は減額)

会 計		補 正 額	補正後の予算額
一 般 会 計 (第7号)		6,003万円	35億4,519万円
特 別 会 計	国民健康保険事業 (第2号)	1,425万円	6億4,631万円
	介護保険事業 (第3号)	△ 2,035万円	7億 412万円
	簡易水道事業 (第4号)	7万円	1億7,040万円
	農業集落排水事業 (第2号)	4万円	1億1,104万円
	下水道事業 (第3号)	7万円	1億1,908万円
	住宅用地造成事業 (第1号)	162万円	3,052万円

※金額は千円未満を切り捨て



町が直接事業を行うことになったため、委託料が減額されたんだ。

一般会計補正予算 (第7号)

主な歳出 (△は減額)

- ・町議会議員一般選挙費 ……△258.4万円
- ・高齢者パワーアップ事業委託料 ……△244.3万円
- ・保育園保育実施委託料(2件合計) ……1,472.1万円
- ・小木ノ城駅駐車場用地買収費 ……△156.7万円
- ・農地集積・集約化促進事業補助金 ……227万円
- ・町民有林造林事業補助金 ……442.6万円
- ・観光案内看板設置工事費 ……232万円
- ・町新定住支援金 ……100万円
- ・中央公民館講堂放送機器改修 ……89.8万円
- ・多世代交流館事業費 ……1568.8万円

農地中間管理機構を通じて農地を貸し出した方へ協力を金を交付するものだよ。



保育士の処遇改善と入所者の増加によるものだよ。



一般会計町長専決処分 (報告第4号)

- ・多目的運動場整備工事費 ……157.8万円

中越よつば森林組合が行う間伐、作業道開設、木材の搬出に係る経費を補助するんだ。



補正予算質疑

主な質疑内容を掲載します。

12月7日

**多世代交流館案内看板
照明灯設置工事** 329万円

中川議員 施設の開設時間は何時までか。ライオンズクラブの寄付で案内看板ならわかるが、維持費が掛かる照明灯は納得できない。

保健福祉課長 開設時間は通常夕方までの予定だが、事業の開催等で夜間も使用する事になる。

町長 〇ご指摘の通り屋外の物は修理等維持費が掛かる、再度検討させてもらう。

**多世代交流館
消耗品費** 91万円

安達議員 相談室の単価4000円の座布団は高価すぎるのでは。

保健福祉課長 購入の際は最小限の物にとどめるが、母子避難所の役割もあるの

で、少しでも良い物であれば役に立つと思う。

**多世代交流館
大型遊具設置工事** 394万円

加藤議員 屋外の遊具は劣化があるのでメンテナンスも含め、リース対応が良いと考える。また、リースと買取での費用対効果はどうか。

保健福祉課長 遊具のリースはあるが、遊具だけではなく基礎や舗装工事も含め一式発注する予定。リースは買取よりも約100万円ほど割高になる。

**多世代交流館
遊具設置舗装工事** 89万円

高桑議員 大型遊具設置に舗装工事があるが、落下などの安全性を考えたうえで、どんな物になるのか。

保健福祉課長 ゴムチップ舗装と人口芝で価格を検討した結果、低価格であったゴムチップ舗装で行います。



**時代館前広場等
舗装修繕工事** 129万円

加藤議員 天領の里エリヤの中で追加事項で安全対策として第2駐車場脇の側溝に蓋を掛ける事は出来ないか。

建設課長 町道の管理は建設課であり、現在は視線誘導標等に対応しているが、現地を再度確認して対応したい。

**天領の里物産館
トイレ改修工事** 68万円

加藤議員 物産館トイレ改修にあたり、現在入口付近が非常に狭く使い勝手が悪く危険な為、安全に利用できるように考慮したい。

産業観光課長 改修は洋式にし、手洗の位置も変え、限られたスペースで有効に使える様に改修する。

**農地集積・集約化
促進事業費補助金** 227万円

三輪議員 今回15戸分であるがこれらの見通しと、財源は国なのに内訳は県になってるのはなぜか。

産業観光課長 15戸の内訳は40㏍未満が4件で受け手が4名、40㏍以上280㏍未満が11件で委託者は9名である。財源は県を通じて支給される事から県費で計上してある。

**町民税
現年課税分減** △630万円

小黒議員 町民税がかなり減額になっているが、減額になった理由は何か。

町民課長 住民税の個人分で全納税義務者の所得が減り、その中で特に株式の譲渡所得が減額になった結果である。

**児童福祉費
支援員等賃金減** △25万円

高桑議員 減額の理由は、保健福祉課長 年度途中で支援員が2名退職し、1名は補充したが募集中であり、職員対応での減額である。

**高齢者パワーアップ
事業委託料減** △224万円

中川議員 事業委託が出来なくなった事で、デメリットが生じているのか。また、従事者の賃金追加は人数増か時間延長での追加か。

保健福祉課長 委託から町単独に変わり実施時間の変更等もあり、募集人数が増えない現状。賃金追加は3月までの追加である。

**介護保険事業
特別会計減** △2,035万円

高橋議員 要介護者数が減ったという解釈でよいのか。また、その要因は何か。

保健福祉課長 全体的な認定者数の減少が要因で、昨年から23人減少し、今後も減少傾向にあるが約2年後から増える見込みである。

10月臨時会

会期 10月23日（1日間）

臨時会では町長専決処分の報告、補正予算・和解及び損害賠償の額について提案され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり全会一致で承認・可決しました。

- 一般会計町長専決処分（第5号）（補正後予算 34億8,409万2千円）
 - ・衆議院議員選挙及び最高裁判官国民審査の実施に伴う補正 4,459千円
 - ・スクールバス車両修繕料 568千円
 - ・スクールバス事故損害賠償金 166千円
- 一般会計補正予算（第6号）（補正後予算 34億8,515万6千円）
 - ・漁協荷捌き所海水ポンプ更新事業補助金 520千円
 - ・スクールバス事故損害賠償金 544千円
- 簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）（補正後予算 1億7,032万8千円）
 - ・管路工事設計業務委託料（大門地区） 1,100千円

議案の質疑討論（※主な質疑を掲載）

- Q 選挙用ポスター掲示板の設置場所、設置数などを見直し経費削減の考えは。
A 選挙管理委員会で場所、設置数は過去も踏まえ適正と判断している。
- Q 事故防止対策で運転者の安全指導は当然ではあるが、センサー取付等の安全対策の考えは。
A 今回の事故は運転者の人的ミスであるため、今後、検討していく。
- Q 中越沖地震後に設置したポンプなのに、耐用年数が短いのでは。
A 設置して9年で10回程修理してきたが、海水を使用する事から傷みも激しい。

21	12	11	8	7	30	29	20	14	14	13	11	10	2	27	26	25	24	23	18	12	5	
議会報特別委員会（議会だより98号）	議会運営委員会 12月定例会最終日 ↓詳細はp8	議会報特別委員会（議会だより98号）	社会産業常任委員会	総務文教常任委員会 12月定例会2日目（一般質問） ↓詳細はp9、13	議会運営委員会 12月定例会招集日 ↓詳細はp4、5	議会報特別委員会（議会だより98号）	総務文教常任委員会 学校視察 ↓詳細はp15	行政視察（京都府伊根町） ↓詳細はp14	行政視察（京都府南丹市） ↓詳細はp14	町との新年度予算意見交換会 ↓詳細はp15	町内観光施設等視察 ↓詳細はp15	社会産業常任委員会	町村自治に関する研修会（新潟市）	出まえ議会（井鼻消防センター）	出まえ議会（大寺集落開発センター）	出まえ議会（海岸公民館）	出まえ議会（八手地区農村環境改善センター）	第7回全員協議会	臨時会	全議員研修会（後期）（新潟市）	議会報特別委員会（議会だより第97号）	議会報特別委員会（議会だより第97号）

議会のつぎぎ（主なもの） 平成29年10月～12月

全員協議会

主な質疑について報告いたします。

第7回 10月23日

多世代交流館の備品購入 および追加工事について

保健福祉課長 備品は、職員が使用するものは節約重視で、子どもたちが使用するものは、安全を重視しながら選定を進めている。屋外テラスに大型遊具1台を追加工事する。来年3月中旬頃、大まかな工事が終わる予定。

高桑議員 フリースペースの床は土間か。屋外遊具設置場所の下はどうか。また、備品については今後、必要なものが出てくると思うが、柔軟に対応してもらいたい。

小黒議員 大型遊具は、耐久年数を考えるリリース制度を検討してはどうか。

保健福祉課長 フリースペースは樹脂の塗床になる。屋外は安全を考えて、芝かゴムチップと思う。リリースの活用も含めて検討したい。

天領の里イベント広場 段差の解消を

加藤議員 今年のイベントは、親子連れや高齢者も多かった。以前から、広場の段差が危険と指摘されているが、早急に解消してもらいたい。

中川議員 時代館前の広場のうねりがひどくなっているが対策はどうか。

産業観光課長 原発交付金と起債事業を入れて整備しているので、条件があるが、県と相談して検討する。

インターロッキングのうねりについては年数も経過しており、順次危険がないように対応していきたい。

ふれあいの里 営業時間の延長検討を

加藤議員 入浴時間延長希望の声があがっているが、時期を決めて延長する考えはないか。

保健福祉課長 区長会議でも質問があった。過去に利用者が少なく、取りやめた経過があるが、費用対効果を考えながら前向きに検討したい。

吉川集落の排水路について

諸橋議員 災害対策のため、県がため池を作る話になったが、その下流側の幅が狭すぎる。町道とファームポンドとの間に、広めの排水路が設置できないか。

建設課長 ファームポンドは新しい施設であるし、両方がうまく機能するか、農業サイドとも意見交換をして、できる策がないか検討したい。

早急にイノシシ対策を

三輪議員 ハツ手地区でイノシシ被害が深刻である。電気柵はその場だけで、他に被害が広がる。どう対応するか。

産業観光課長 イノシシの頭数を減らさなければならぬ。猟友会にお願いしているが、難しい状況である。

町長 電気柵は効果が出ず、ムダとの指摘もあった。絶対数を減らすため、1頭捕獲したら報奨金を出す案を提案している。今後、協議願いたい。

第8回 12月12日

県宅地建物取引業協会と 近日中に協定を締結

総務課長 空き屋空き地情報バンクは、町の公表により、町は希望者・所有者に連絡を取り、斡旋までをする。その先は当事者間で交渉するしか法律上できなかった。不動産物件の交渉は専門性が高い。今回の協定で、希望があれば専門家が入って取引をすることになるが、手数料が発生する。手数料は双方が話し合いで支払うことになる。

小黒議員 仲介料の助成は考えているか。

総務課長 手数料の助成は現段階では考えていないが、今後状況を注視していく。

ふるさと納税サイトに 高額申込み

総務課長 返礼品を申し込むことで寄付金額が決定するサイト「さとふる」を通して100万円の寄付があった。返礼品の車いす購入金額30万円を専決としたい。

三輪議員 今までの返礼品との違いは何か。

総務課長 「さとふる」に当町は26品目をアップしている。町に直接申込みれたものは、金額に応じたポイント制としており、出雲崎の物産を選んでいただき送っている。

北朝鮮の漂流物・漂流船に 当町の対応は

加藤議員 当町にも、いつ漂着してもおかしくない。どのような対応を考えているか。

高橋議員 人がいた場合、感染症等が心配されるが。

町長 警察と密接に協力しながら住民の安全に努める。住民には対処を周知する。

1 三輪 正議員



質問項目

- ・資源ゴミ収集の改善について

🔍 10ページ

2 高桑 佳子議員



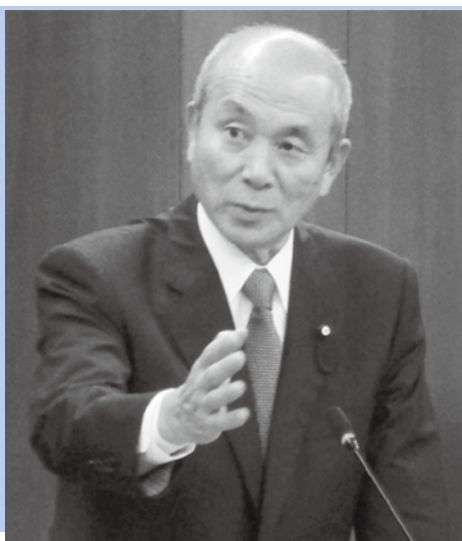
質問項目

- ・協働のまちづくり推進について
- ・子育てや教育現場における関係職員の状況について

🔍 11ページ

一般質問 ~町政を問う~

3 高橋 速円議員



質問項目

- ・町道及び赤すじの排水等維持管理について

🔍 12ページ

4 加藤 修三議員



質問項目

- ・運転免許証の自主返納と支援の充実について

🔍 13ページ

資源ゴミ収集の改善について



三輪 正 議員

町長

古着、古布の回収は実施する

【三輪】 当町では長岡市と一体でゴミの収集、処理が行われており、資源ゴミの分別の徹底と収集品目の拡大を進めている。今後、資源の有効利用、コスト減のため次の三点について、実施すべきと考えるが、町の方針を伺う。

ゴミ袋の長岡市との 共通化を

【三輪】 当町は、ゴミ処理は長岡市と一体で行っている。回収袋は燃えるゴミ、生ゴミの袋と種類も多く、長岡市と比べて当町の注文数は極端に少なく、製造コストも非常に高いと思う。柏崎市と刈羽村、燕市と弥彦村は共通の袋を使用している。ゴミ袋は長岡市と共通化すべきである。

【町長】 コスト面よりも、町内の店を利用するメリットがあり、共通化が考えない。

「食用廃油」の 回収方法の改善を

【三輪】 各家庭で出る廃油の回収拠点を設置して再利用を進めるべきである。当町には廃油回収業者の本社もあり、連携して回収しやすい方法を進めるべきである。現状の小学校への持込、年2回の小中学校の回収だけでは不十分である。長岡市、柏崎市、見附市などは実施している。当町でも回収拠点の設置が必要であると考えが。



柏崎市の食用廃油回収ステッカー

【町長】 各家庭での量も少なく、それぞれ処理されているので回収は考えていない。

資源「ミ」として「古着、古布」の回収を

【三輪】 周辺市町村では古着の回収を実施し、再利用とゴミの減量に努めている。古着は主に東南アジアへ輸出され、分別

して再利用している。当町でも改修を実施すべきと考えるが。

【町長】 再利用とゴミの減量効果があるので実施する方向で考える。

引きこもりの現状と対策について

町長

解消に向けて、町の体制を 強化する。

当町の引きこもりの 現状、原因は

【三輪】 全国的に引きこもりの増加が問題となっており、最近では高齢化する引きこもりやニートの就労を後押しするため、厚生労働省は今までの39歳までの対象を40〜44歳も含めるように方針を決めた。

当町でも中高齢者の引きこもりの事例があるが、解消について努力すべきと考えるが。

【町長】 職場、健康状態が原因と考えられる。町への相談件数は、平成27年度6件、28年度5件、29年度は現在まで3件である。困った時にはぜひ、町へ相談してほしい。

【三輪】 解消のため行政、関係者、地域の取り組みについて町はどのように考えるか伺う。

【町長】 大変深刻に捉えている。国、県と連携し、町は保健師を中心に対応を強化する。周辺の協力も必要と考えている。

協働のまちづくり推進を



高桑 佳子 議員

町長

ダイレクトに対応することが重要

中間支援組織の委託を

高桑

地域が元気になるために何が必要か、まず「ひとづくり」からだと思う。「協働」とは、立場の違う人が互いを認め合い、それぞれの思いに共感し、補い合いながら持ち味を発揮してまちづくりを行うことで、これこそ当町に求められるものと考えます。

町民の中には、地域で抱える課題を何とかしたいと考え、行動を起こしている方もいらっしゃるが、資金やスキルが不足しているし、行きづまれば最終的には「町がやってくれ」となる。片や、町行政も地域づくりは進めたいが、人手不足や業務多忙、公平を期すためにできないことも多い。その間に立って、組織や団体と行政とを結び、スキルや資金獲得に支援をしてくれる「中間支援組織」の存在は、まちづ

くりで成功している自治体例でも非常に有効とされている。

行政も団体も十分に頑張っている人たちが、さらに頑張るのは苦しい。5年後、10年後と高齢化が進んだ時、スムーズな世代交代や活動を維持していくためには支援組織が必要と思う。

先進的な取り組みをしている長岡市の協働支援センターに委託する考えはないか。

町長

協働のまちづくりにについては、第5次総合計画にしっかりと盛り込んでおり、重要性は認識している。町の職員に、町内の地域に積極的に入っていく、要望があればダイレクトに対応するよう常に指示している。当町は小さい町であり、直接のやりとりが重要で、中間支援組織を持つ考えはない。

子育て、教育現場に関わる

臨時職員の現状は

町長

待遇改善に取り組み

てくれと言ってきた。

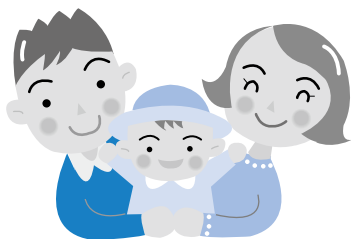
補助金がなくとも、必要であるならば町としては十分に対応したい。

多世代交流館の開設に伴う機構改革については、現在検討を進めており、近く結果を示す予定である。

現場の臨時職員の待遇改善には、しっかりと取り組んでいく。

町長

職員数は、県費に加え、町単独でも増員をしている。知事にも、各自自治体がどういう努力をしているか、受け止め



町道及び赤すじの排水等 維持管理について 協同作業報償金の増額を



高橋 速円 議員

町長

趣旨はわかった 実態に則して対応したい

報償金の増額を

高橋 町道及び赤すじの排水等、その維持管理は、その昔は田畑の貴重な水源を構成していた。しかし、高齢化や国の農業政策もあり、主要な町道等を除くと町全体が荒れてきたと言わざるをえない。町道や赤すじに係る地権者も昨今の社会構造の変化や就業形態等の変化から、整備には積極的にはなれず、また手も廻らず、地域環境は悪化の一途をたどっている。

近年、町は幸いにも大きな災害に見舞われてはいないが、いずれやってくると思う。

そのためにも水の処理は大事な案件である。

町では地域整備等については現在、地域協同作業報償金を実施しているが、その増額を提言したい。町長の所見を伺う。

町長 趣旨はわかった。

確かに社会は変わり集落の構成も変わった。ボランティア活動も大切だが、それに係る経費も大切である。

現在、この協同作業報償金については20を越える集落、300人程度の皆さんが対応されている。実態に則して対処したい。

涵養の精神で

高橋 個人的には地域は地域で守るべきだと思う。しかし、今は誰もが余裕がなくなり、特に若い方々は今日明日のことではいっぱいである。その若い方々が地域に愛着を持っていただくために対策が必要と考える。

涵養という言葉があるが、じわじわと水が大地に染み渡るような策が大事ではないかと思う。町長の考えを伺う。

柔軟に対応

町長 地域の連帯感を深め実態に則して柔軟に対応をしたい。

一口メモ

※涵養とは、地表の水が地下に浸透し、地下水になることを指す。比喩的な意味は、水が自然に土に浸透するように、無理をしないでゆっくり養い、育てることを意味する。



町内の赤すじの現状



運転免許証の自主返納



加藤 修三 議員

町長

相乗りを推奨したい

免許返納者後の日常生活

加藤 高齢者の交通事故が多発で、免許証返納を推奨しているが、当町は、公共交通の運行数も少なくバスも来ない地域もあり、買物や通院等日常生活には車は不可欠であるが、免許証返納後も安心して暮らすために、タクシー利用券など、今以上の支援をできないか。

町長 実態を見て、皆さんの意見を聞き、前向きに検討しますが、有効活用方法として相乗りを推奨したい。

高齢ドライバーの認知症予防

加藤 「日常生活には困らない物忘れ」MCI（軽度認知障害）時に適切な治療で、認知症発症を抑えるMCIを健診等に加えられるか伺う。

町長 MCI検診を受ける人がいるか疑問で、認知症予防は日常生活の中で、運動やウォーキングを積極的にやっていた方がいい。

健康ポイント制度で健康維持

加藤 運転免許証返納により外出する機会も減り、話し相手もなく引きこもりになりやすく、色々な所から電話や訪問、勧誘も増え、詐欺に狙われると言われており、引きこもり防止として、町イベントや運動、健康教室等に積極的に参加し、町内商店街で使えるポイント制度を設け活性化に繋げる考えはないか。

町長 ポイント制度もいいが、引きこもりにならないためにも、地域サロン等に出ただくことを基本に、講演やイベント参加を呼びかけたい。

高齢者の安全運転装置車購入支援

加藤 高齢になると、身体的機能や集中力も低下し、操作ミスによる事故が起きやすく、車メーカーも種々の安全装置を付けており、高齢者の安全運転装置車購入支援の考えはないか。

町長 高齢者に安全装置車に、乗れ、乗れと誤解されやすく、安全装置車購入支援は、考えてない。

無人運転地域をめざして

加藤 高齢化による住民の足を確保として、無人運転の実証実験を全国各所で始めたが、当町も将来に向け、自動運転実証町として国にエントリーできないか伺う。

町長 どこで実証試験をしているか、事実関係を確認し、検討する。



タクシー利用券

行政視察報告



11/14

京都府 南丹市 なんたんし

市民協働のまちづくりについて

市の概要

南丹市は京都府のほぼ中央に位置し、平成18年に4つの町が合併し、市となる。面積は京都市に続いて広いが、総面積の88%が山林である。神社仏閣の特徴ある観光資源があり、京野菜などの付加価値の高い農業、高度医療環境や、多くの教育機関が立地する学生のまちでもある一方、高齢化と人口減少が進んで、185集落中29集落が限界集落で106集落が純限界集落である。



研修内容

南丹市役所で、市民協働についての課題と取り組みの説明を受けた。学識者・公募委員、行政職員15名で構成される、「市民と共に担うまちづくり手法検討委員会」を組織し、地域の課題解決に取り組む市民活動を行政が支援する仕組みづくりを整備し条例制定され「市民提案型まちづくり活動支援交付金制度」を創設。

この交付金のねらいは、活動団体や人材発掘、市民意識の高揚、機会の場の提供、そして柔軟な事業実施である。耕作放棄地・有害鳥獣。特産品の振興・定住促進等、市が設定したテーマに基づく課題設定型事業と、自由なテーマで社会的・地域的な課題解決に資する、自由提案型事業があり、全額補助で上限20万円までの支援を行ない、年々提案数が増え、成果をのびせてきている。

11/15

京都府 伊根町 いねちよう (伊根浦舟屋群)

景観形成と交流人口、拡大の取り組み

町の概要

伊根町は、京都府北部丹後半島の北端に位置し、町の東から北側が日本海に面して、農林漁業を基幹産業としてきたが、観光業等の増加に伴い、農林漁業を主業とする人口は3割を切る程減少した。

高齢化率も京都府内で最も高く2060年には現在21511人の人口が639人まで減少すると試算されている。

研修内容

伊根町の「伊根浦舟屋群」を中心とした景観形成と交流人口拡大の取り組みについて、調査視察を行った。

町内は、「舟屋」が群をなす漁村景観として全国的に知られている。また他にも地域独特の歴史・文化を今に伝えている。これらの地域資源を生かし、「重要伝統建造物保存地区」として国の選定を受けて町づくりに活用している。交流人口拡大については、舟屋を活用し、農林漁業体験民宿の開業支援体制を整備し、現在6件が開業した。また地域外からの人材招致

を行い、地域おこし協力隊として2名を雇用。現在この2名の方は伊根町へ移住して定住化している。

伊根町も景観等の条例制度を整備して、まちづくりを確実に進めている。



所見

南丹市、伊根町ともに、10年以上の年月をかけ、条例の制定や地域住民を巻き込んだ取り組みを行っている。地域課題や景観は、当町にも通じるものがあり、学ぶべき事も多く、今後の当町の発展のために活かしたい。(安達一雄)

委員会視察・調査報告

11/29

総務文教常任委員会

11月29日、学校教育問題について、現地視察を行いました。

出雲崎中学校では、自己肯定感を高め人間関係を構築するために、異学年交流やコミュニケーションスキルを学ぶ機会を積極的に進めているとのことでした。また、トラブルがあつた際のケアについては、生徒一人一人の心に沿うよう、連携をとって対応に注意しながら対応を進めるとの話がありました。

授業見学で、生徒たちは明るく快活でした



中学校視察状況

が、情報の氾濫する現代社会での思春期教育の難しさも感じました。

また、出雲崎小学校では、今年から特別支援学級が4クラスとなりました。学習等で支援が必要な児童の割合は、全国平均よりも高く、手厚い人的体制ではありますが、より充実させる必要があるのではないかと感じられました。

また、整備が必要で

はないかと声の挙がっている駐車場についても、現場を見て、意見交換を行いました。

総務文教常任委員会としては、今回の現地視察を踏まえ、学校現場や行政と協力しながら、また地域の皆さまとともに、出雲崎の子どもたちの教育環境の整備・改善に努めてまいります。

総務文教常任委員長

高桑 佳子

11/10

社会産業常任委員会



農産物加工場 (小木)



漁協公衆トイレ

観光施設、良寛堂等の公衆トイレ、観光看板の整備状況、小木地内の農産物貯蔵施設の管理や使用状況について調査しました。

結果、農産物貯蔵施設はJAが管理しており、調理場の使用日数は年間60日位と低く、施設利用PRと、有効活用を要求しました。トイレは、きれいに維持され良好であり、安全面は、バリアーフ

リー、手すり設置、看板表示の見直しや改善を要求した。

良好な景観は町民の財産であり、美観維持の観点から、定期的チェックが必要であるとの結論に達しました。

以上、社会産業常任委員会閉会中の事務調査報告と致します。

社会産業常任委員長

加藤 修三



近

年は大きな災害もなく、インフラも治り豊かで、バスや電車を乗り継がなくても、教育も医療も福祉も受けることができます。住民の多くは勤勉で、政治行政は腐敗とは程遠いレベルで清廉潔白です。

昔と比べれば人口は減ってしまい、駅前のお店は少なくなつてしまつたけれど、美容院もコンビニも定食屋さんもあります。子どもたちは元気で、母親は笑い、働き盛りの父親は頑張つています。人々の繋がりは深く、防災や町興しに熱心な人たちもいます。ちよつとお年寄りが多いけれど、それもこの町のいいところ、つまり魅力のひとつです。

このように書くと、「それは素晴らしい、そんな町があるのか？」という思う方がいるかもしれません。何処かといえば、そう、ここ出雲崎町のことです。人生の豊かさは、足らぬを不満に感じて暮らすか、あるものに感謝して暮らすかで、まるで違うといえます。後者の視点で町を見渡してみると、都会にはない味わいと楽しみ方に気づき、自然と笑顔が増える。そんな気がします。

みんなの声

出雲崎の魅力

町内勤務
遠藤 雅大



表紙の小話



食べちゃった！

北国街道妻入り会館に、今年も華やかな「まゆだま」が飾られました。

時間前からたくさんの子どもたちが集まつてくれました。ついたばかりの餅を、ちぎりながら水木の枝に付けていきます。柔らかい餅は、ちぎつてそのままお口の中にも……。とても賑やかで、町には、こんなにかわいい子どもたちがたくさんいるのだと、嬉しくなる光景でした。

今ではほとんど見られなくなつたようですが、以前は、各家庭で飾られていたとか。こうした伝統行事はいつまでも伝えていきたいものです。今年は紅色のとりもちを加え、例年に増してすばらしい出来映えとなりました。

寒いこの時期ですが、妻入り会館ではこれから、天神様、おひな様に吊し雛と、華やかで美しい、楽しい展示が続きます。

(高桑佳子)

編集後記

あけましておめでとうございます。

平成29年の世相を表す一文字が「北」に決まりました。まさに「北」で始まり、「北」で終わった一年間でした。我々も町民の方々に関心を持つてお読みただけのような議会だよりを目指し、編集委員一同力を合わせて頑張つていきます。これからも町民の皆さまからご意見をお寄せいただきたいと思います。本年も平穩で良い年でありまふように。

(安達一雄)



議会報特別委員会

委員長 高桑佳子
副委員長 小黒博泰
委員 安達一雄
委員 中野勝正